

令和7年度～令和14年度



第2次国分寺市 総合ビジョン

概要版



令和7年3月

第2次国分寺市総合ビジョンの 策定に当たって



国分寺は、自然環境と都市機能が調和したまちとして発展してきました。国指定史跡武蔵国分寺跡をはじめとする「歴史文化」、日本の宇宙開発発祥の地や新幹線の技術開発の地である「科学」、国分寺崖線や都市農業などの「自然・緑」といった多くの個性を持ったまちでもあります。

この間、平成29（2017）年3月には「国分寺市総合ビジョン」を策定し、未来のまちの姿を定め、まちづくりの基本理念の下、市民、事業者等の皆様と共にまちづくりを進めてまいりました。この第1次となる「国分寺市総合ビジョン」の計画期間には、平成30（2018）年2月に国分寺駅北口の再開発ビルが、また、令和3（2021）年2月に駅前広場がそれぞれしゅん工し、長年の課題であった国分寺駅北口再開発事業が完了しました。さらに、令和7（2025）年1月には市庁舎を泉町に移転し、防災と市民サービスの新たな拠点とするなど、まちのにぎわいや利便性と市民の安全・安心を一層向上させながら、着実な成長を遂げてまいりました。一方で、予想だになかった新型コロナウイルス感染症の拡大により、市民生活や地域経済が非常に厳しい状況に置かれた時期がありましたが、市民の皆様にご協力いただきながら、この難局を乗り越えてまいりました。

近年では、少子高齢化の進行、気候変動による自然災害の激甚化、グローバル化・デジタル化の進展、脱炭素ムーブメントの高まり、価値観やライフスタイルの多様化など本市を取り巻く状況は急速に変化してきており、人々の意識や行動も変容しています。このような社会環境の変化を的確に捉え、持続可能なまちづくりを進めるため、新たな基本構想である「国分寺市ビジョン」と、これを実現するための具体的な取組である「国分寺市ビジョン実行計画」を取りまとめた「第2次国分寺市総合ビジョン」を策定しました。

「国分寺市ビジョン」では、未来のまちの姿を「歴史をつなぎ 未来をひらく 個性がひかり輝くまち」と定め、これまで培ってきた国分寺の強みを生かしながら、新たな価値を創造することができるまちの実現を目指しています。そのために、「すべての人が主役であること」「変化に対ししなやかであること」「まちの心地よさを未来へつなげること」の三つをまちづくりの基本理念とし、市民、事業者等の皆様と共に、一人一人の個性が発揮され、活躍できる、活気あふれるまちづくりを進めてまいりますので、特段のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、「第2次国分寺市総合ビジョン」の策定に当たり、市議会をはじめ、第2次国分寺市総合ビジョン等策定検討委員会、市民・若者ワークショップ、アンケート等を通じてご協力いただきました多くの市民の皆様、また、計画案に係る意見照会にご協力いただきました事業者、団体の皆様に、心より感謝と御礼を申し上げます。

令和7年3月

国分寺市長

井澤邦夫

国分寺市総合ビジョンとは

「国分寺市総合ビジョン」は、国分寺らしい持続可能なまちづくりを展開していくためのまちづくりの最上位計画です。

国分寺市では、これからのまちづくりの基本指針となる、目指すまちの将来像を明らかにするとともに、その実現に向けた具体的な施策を示すために、「第2次国分寺市総合ビジョン」を策定しました。

※「第2次国分寺市総合ビジョン」の詳細は、本編を御覧ください。

「第2次国分寺市総合ビジョン」は、「国分寺市ビジョン」(以下「ビジョン」といいます。)と「国分寺市ビジョン実行計画」(以下「実行計画」といいます。)の2層から構成されています。

● ビジョンとは

市の最高規範である国分寺市自治基本条例に定める「基本構想」として、まちの目指す姿とまちづくりの方向性を示すものです。

「ビジョン」は、市と市民と事業者等が共に目指す「未来のまちの姿」と、行政運営の理念である「まちづくりの基本理念」で構成されています。「ビジョン」の達成目標年度は、令和14(2032)年度です。

総合
ビジョン



● 実行計画とは

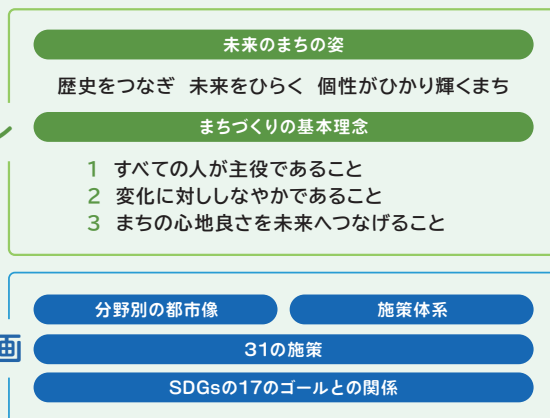
「ビジョン」の実現に向けた具体的な施策を示すものです。

「実行計画」は、「ビジョン」を実現するための分野別の都市像や施策、具体的な取組等で構成されています。まちを取り巻く急速な社会環境の変化に柔軟に対応できるよう、前期・後期の各4年間で期間としています。

ビジョン

実行計画へと
展開

実行計画



国分寺市の特徴

国分寺市の立地

国分寺市は東京都の中央に位置しています。

市内にはJR中央線・武蔵野線や西武国分寺線・多摩湖線が縦横に走り、なかでも国分寺駅は多摩地域の交通の要衝となっています。

市名が日本の歴史に由来

市の名前は、奈良時代に建立された「国分寺」に由来しています。

現在も国指定史跡の武蔵国分寺跡や国指定重要文化財の木造薬師如来坐像など、貴重な文化財が数多く残されています。

商業施設・店舗の充実

令和2(2020)年度には国分寺駅北口再開発事業が完了し、駅周辺の利便性が更に向上しました。

また、市内各所に個性豊かで魅力ある商店や日常の買物に便利な店舗があり、生活しやすい環境が整っています。

緑と農が豊か

国分寺崖線や都立殿ヶ谷戸庭園など、豊かな緑と水に彩られた武蔵野の面影を残しています。

また、市内全域で都市農業が盛んに行われ、「こくベジ」の愛称で知られる地場産農畜産物は、市内外から高い評価を受けています。

子育てしやすい環境

都心へのアクセスがしやすい一方で、豊かな緑や湧水、公園があり、働きながら子育てを充実させることができるため、年少人口(0~14歳人口)の転入超過が続く、子育て家庭に選ばれるまちになっています。

地域資源が豊富

昭和30(1955)年4月12日に日本初のロケット(ペンシルロケット)の水平発射実験が行われた「日本の宇宙開発発祥の地」です。また、新幹線の技術開発の地としても知られ、新幹線ひかり号に由来する「光町」があります。

時代の潮流

少子高齢化と人口減少の進行

人口減少に伴い、福祉サービスや医療等の社会保障費の増大や、まちの活力低下が懸念されます。

デジタル技術を活用した業務の効率化などによる更なる行財政改革の推進や、公共施設等の計画的な整備など、自立的で持続可能なまちづくりを進めることが求められています。

自然災害の頻発化と激甚化

頻発する地震や台風、豪雨などの自然災害は、私たちの生活を脅かしています。

インフラの老朽化対策や強靱化、地域の連携・協力体制の構築など、自助・共助・公助の取組や、ハード・ソフト一体となった危機管理の強化が求められています。

脱炭素社会の推進

脱炭素社会とは、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量の「実質ゼロ」を目指す社会のことです。

日々の暮らしの中で、CO₂の排出抑制や再生可能エネルギーの活用など、脱炭素社会形成に向けた取組の推進と、地球に優しい都市構造への転換が求められています。

人々の価値観やライフスタイルの多様化

グローバル化・デジタル化の進展、ジェンダー平等・多様性の推進などにより、人々の価値観やライフスタイルは多様化しています。

多様性を受け入れ、それぞれの違いを力に変え、誰もがいきいきと活躍できるまちづくりが求められています。

新技術の進展

近年、IoT*1、AI*2、次世代通信*3といったデジタル技術は急速に発展しています。市民サービスの向上や行政事務の効率化に向けて、デジタル人材の育成と業務改革を一体的に進めていくことが求められています。

公共施設等マネジメント

公共施設の長寿命化や複合化・多機能化による維持管理費等の削減等をこれまで以上に推進していく必要があります。

道路、橋りょう、下水道、公園といったインフラ施設と併せて、総合的かつ計画的な修繕・更新を実施する必要があります。

用語解説

*1 IoT/Internet of Thingsの略。「モノのインターネット」と呼ばれ、あらゆるモノをインターネットに接続させて情報のやりとりをすることで、モノのデータ化やそれに基づく自動化等が進展し、新たな付加価値を生み出すという概念

*2 AI/Artificial Intelligence(人工知能)の略。人間の思考プロセスと同じような形で動作するプログラム、または人間が知的と感じる情報処理・技術といった広い概念

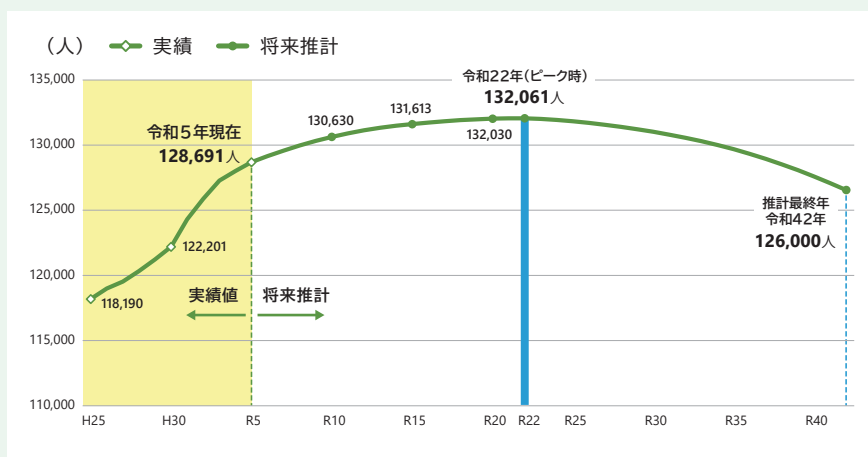
*3 次世代通信/従来の通信技術を進化させた新しい通信方式やネットワーク技術の総称。高速化、大容量化、低遅延化、省電力化、接続デバイスの大幅な増加を目指した通信技術

国分寺市の人口や財政状況

人口推移と将来人口推計

国分寺市の人口は増加傾向が続いていますが、将来的には令和22(2040)年の132,061人をピークに、令和23(2041)年以降は減少傾向となる見込みです。令和37(2055)年には現在とほぼ同じ128,000人、推計最終年の令和42(2060)年には126,000人まで減少すると推計されています。

【将来人口推計(令和6(2024)年～令和42(2060)年)】



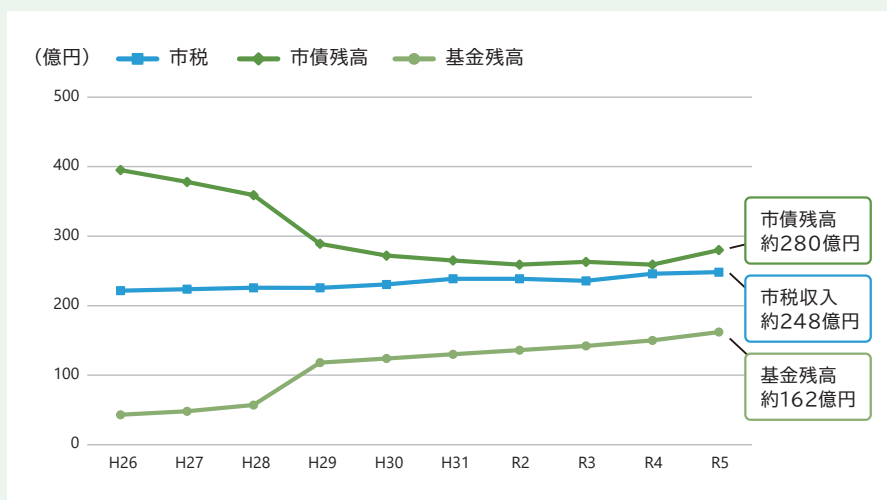
出典 国分寺市人口ビジョン(第3版) 各年4月1日時点

財政状況

国分寺市の市税収入及び基金残高*4は微増傾向で推移し、市債残高*5は令和4(2022)年度まで減少傾向で推移していたものの、直近の令和5(2023)年度は増加に転じています。

今後、生産年齢人口の減少による市税収入の減少や、医療・介護・年金・子育て支援等の経費である社会保障費の増大が見込まれ、これまで以上に堅実な財政運営が求められます。

【市債残高等の推移】



出典 財政状況資料集(東京都)及び令和5(2023)年度決算資料(国分寺市)

用語解説

*4 基金残高／特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て又は定額の資金を運用するために設けられる資金又は財産の残高のこと。

*5 市債残高／財政上必要とする資金を外部から調達するために負担する債務のうち、その返済が一会計年度を越えて行われるものの残高のこと。

市民アンケート調査の概要

市民の生活意識や市の施策に対する考えを把握し、「実行計画」における各施策の基礎資料とすることを目的に、市民アンケートを実施しました。

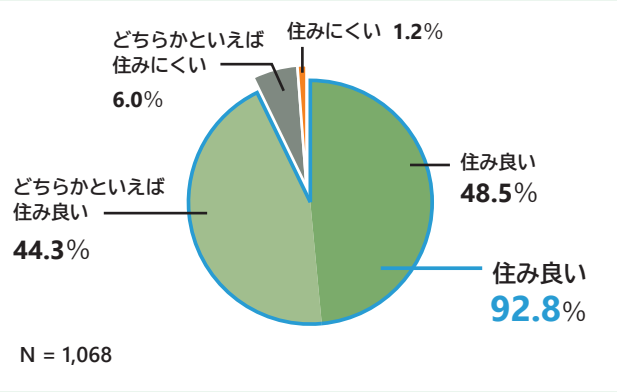
【令和6(2024)年度国分寺市市民アンケート調査】

概要	詳細
調査対象	令和6(2024)年12月1日時点で、国分寺市に住民登録している満18歳以上の市民3,000人
抽出方法	住民基本台帳からの無作為抽出 (住民基本台帳に登録されている満18歳以上の在住者を、世代ごとに6区分で抽出)
調査方法	郵送配布、郵送又はインターネット回答
調査期間	令和6(2024)年12月20日から令和7(2025)年1月16日まで
有効回答数	1,115件(回収率37.2% ※うちインターネット回答は414件)

① 住みやすさ

「国分寺市を住み良いと感じていますか。」の質問に「住み良い」、「どちらかといえば住み良い」を合わせた『住み良い』とする回答は、92.8%と約9割を占めています。

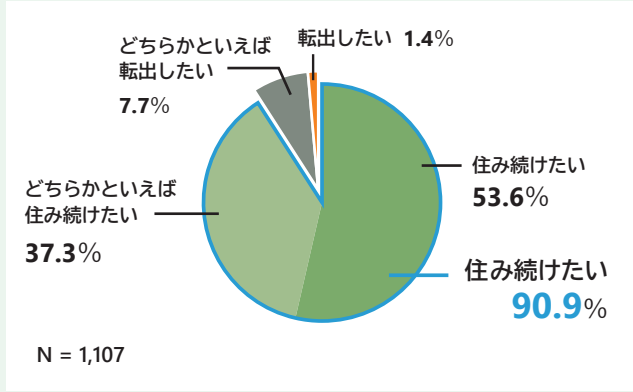
一方、「どちらかといえば住みにくい」、「住みにくい」を合わせた『住みにくい』は7.2%となっています。



② 定住意向

「これからも国分寺市に住み続けたいと思いますか。」の質問に、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた『住み続けたい』とする回答は90.9%と9割を超えています。

一方、「どちらかといえば転出したい」、「転出したい」を合わせた『転出したい』は9.1%となっています。



国分寺市ビジョン

未来のまちの姿

私たちがともにまちづくりを進める上での共通の目標として、「未来のまちの姿」を次のとおり定めます。達成目標年度は、令和14(2032)年度とします。

『歴史をつなぎ 未来をひらく 個性がひかり輝くまち』

まちづくりの基本理念

「未来のまちの姿」の実現に向けて、以下に掲げる「まちづくりの基本理念」を念頭に、国分寺市ビジョン実行計画に示す施策・事業を展開していきます。

1 すべての人が 主役であること

まちづくりの主役は人です。世代や性別、国籍などの枠を超えて、すべての人が思いやりをもって関わり合い、ともに成長しながらまちづくりを進めていきます。

2 変化に対し しなやかであること

社会や時代のニーズを的確に捉え、これまで培ってきた国分寺の強みを最大限生かしながら、変化をおそれることなく、どんな時でもしなやかに対応できるまちづくりを進めていきます。

3 まちの心地良さを 未来へつなげること

自然環境と都市機能の調和など、これまでに築き上げられた国分寺の個性を大切にしながら、新たな技術やアイデアを力に変えて、未来へとつなげるまちづくりを進めていきます。

国分寺市ビジョン実行計画

分野別の都市像

未来のまちの姿『歴史をつなぎ 未来をひらく 個性がひかり輝くまち』を実現するために、次の五つの都市像を定めます。「公共経営」の都市像が、その他の各都市像の基盤となることで、効果的かつ効率的に各分野の施策を推進していきます。

子どもを育み 学びがつながるまち (子ども・学び)

子どもたちが理想の未来を思い描きながら、その実現に向けて進み、子育て・子育てを通じて大人も一緒に成長していくことができるまちを目指します。

活気あふれる 成長のまち (歴史・文化・地域づくり)

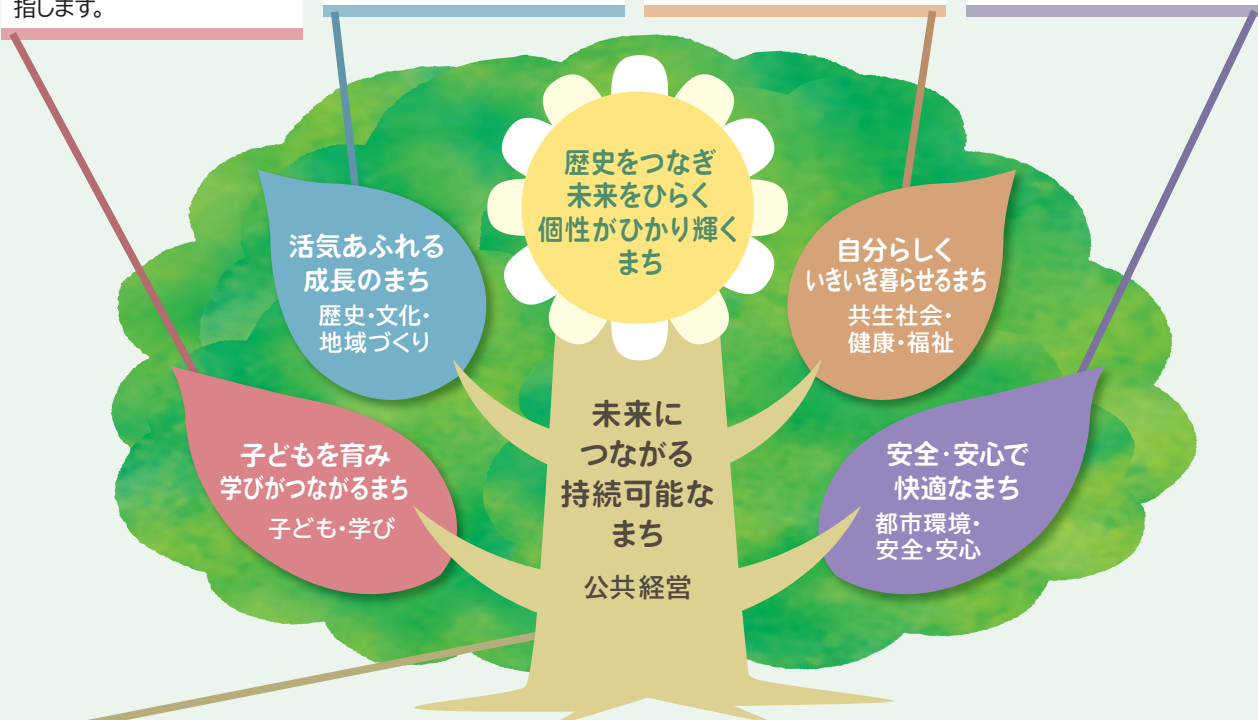
国分寺の良さを受け継ぎ、高めることができる、未来にわたって活気にあふれる成長のまちを目指します。

自分らしく いきいき暮らせるまち (共生社会・健康・福祉)

共生社会の実現に向けて、人と人がつながり互いに支え合い、みんなが自分らしくいきいきと暮らせるまちを目指します。

安全・安心で 快適なまち (都市環境・安全・安心)

便利で快適な日常生活を送れる環境を整備することで、すべての人が安全・安心で快適に生活できるまちを目指します。



未来につながる持続可能なまち（公共経営）

社会環境の変化や複雑化・複合化した地域課題に機動的に対応し、持続可能なまちづくりを進めることで、国分寺の価値を高めながら、未来へとつながるまちを目指します。

子どもを育み 学びがつながるまち (子ども・学び)

国分寺の未来を担う子どもたちが健やかに成長していくためには、切れ目のない子育て支援、教育環境の整備、一人一人の個性に合った居場所づくりなど、地域全体で子育て・子育てを支えることが重要です。

学びを通じた自己実現は、人生の豊かさだけでなく、習得した知識や経験が地域に還元されることで、まちの活性化にもつながります。

子どもたちが理想の未来を思い描きながら、その実現に向けて進み、子育て・子育てを通じて大人も一緒に成長していくことができるまちを目指します。

関連する施策

1 切れ目のない子育て支援

主担当課 子育て相談室

担当課 —

2 子育て支援サービス

主担当課 子ども子育て支援課

担当課 子ども若者計画課
保育幼稚園課
子育て相談室
社会教育課

3 子育て環境整備

主担当課 子ども若者計画課

担当課 保育幼稚園課
子ども子育て支援課
子育て相談室

4 学校教育

主担当課 学校指導課

担当課 学務課

5 教育環境整備

主担当課 教育総務課

担当課 学校指導課



離乳食講習会



食育活動



プレイステーション



1 妊娠期から出産・子育てまで、全ての子育て家庭に切れ目のない継続的な支援を提供します〔切れ目のない子育て支援〕



目指す姿

子育て家庭が、切れ目のない支援を受けながら地域とのつながりを深めることで、孤立感や不安感が軽減し、安心とゆとりをもって子育て・育ちができています。

● まちづくりの指標

指標名	現状値	目標値
この地域で子育てをしたいと思う親の割合	R5 95.4%	R10 96.0%
こども家庭センターの利用満足度	R6 80.0%	R10 84.0%

取組方針 1



切れ目のない妊娠・出産・育児支援体制の充実

取組方針 2



母子健康教育の充実と地域での仲間づくりの促進

取組方針 3



母子保健と児童福祉の一体的な支援体制の構築

取組方針 4



地域の相談支援体制の構築



2 多様なニーズに合った質の高い子育て支援サービスを提供します〔子育て支援サービス〕



目指す姿

子育て家庭がそれぞれのニーズに合った質の高いサービスを利用し、地域の中で安心して子育て・育ちができています。

● まちづくりの指標

指標名	現状値	目標値
必要な子育て支援サービスを利用できていると感じる保護者の割合	R6 87.0%	R10 91.0%
子どもの居場所に対する安心度	R6 96.0%	R10 98.0%

取組方針 1



子育て支援サービスの情報提供及び利用支援の推進

取組方針 2



多様なニーズに対応した地域の子育て支援サービスの充実

取組方針 3



子どもの発達に関する支援の充実

取組方針 4



子どもの居場所づくりの推進

3

子どもの成長に応じた適切な子育て環境を整備します〔子育て環境整備〕

目指す姿

成長に応じた適切な環境と、質の高い幼児教育・保育及び学童保育が確保され、一人一人の子どもが地域の中で自分らしく健やかに成長しています。

まちづくりの指標

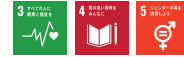
指標名	現状値	目標値
保育所等入所待機児童数	R6 24人	R10 0人
学童保育所定員数	R6 1,419人	R10 1,833人

取組方針 1



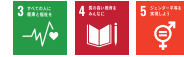
保育サービスの充実による待機児童対策の推進

取組方針 2



幼児教育・保育の人材育成と運営支援の充実

取組方針 3



学童保育所の狭あい状況の解消と保育環境の充実

取組方針 4



学童保育の質の維持・向上・均一化に向けた職員研修の実施

4

主体的に未来を切り拓く力を育成します〔学校教育〕

目指す姿

学校、地域、家庭が互いに連携・協力し合いながら、子どもたち一人一人が社会の形成者として、未来を自ら切り拓いていくための学習環境の充実に努めます。

まちづくりの指標

指標名	現状値	目標値
自分には、よいところがあると思う児童・生徒の割合	R5 児童85.4% 生徒80.9%	R10 児童90.0% 生徒85.0%
話し合い活動を通じて自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると感じる児童・生徒の割合	R5 児童82.5% 生徒83.2%	R10 児童86.0% 生徒86.0%

取組方針 1



個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

取組方針 2



いじめ防止に向けた取組の一層の充実

取組方針 3



国分寺学の推進

取組方針 4



質の高い学校給食の充実と食育の推進

5

全ての子どもたちが輝く教育環境を整備します〔教育環境整備〕

目指す姿

子どもが安心して意欲的に学べる質の高い教育環境が整っています。

まちづくりの指標

指標名	現状値	目標値
登校する小中学校の施設に満足している児童・生徒の割合	R6 —	R10 70.0%
ユニバーサルデザイン*6の視点に基づいた学習環境の整備が行われている学校数	R5 15校	R10 15校

取組方針 1



特別支援教育の充実

取組方針 2



特別支援教育に関する環境整備の推進

取組方針 3



安全、安心、快適な学校生活に向けた学校施設の整備

取組方針 4



教育ICT環境整備の推進

用語解説*6 ユニバーサルデザイン／障害の有無、性別、人種等にかかわらず、多様な人々が利用しやすいようにあらかじめ生活環境等をデザインする考え方。ここでは、ユニバーサルデザインの視点に基づき、児童・生徒の実態に合わせ、教室環境や指導方法を整えることを示している。

活気あふれる成長のまち (歴史・文化・地域づくり)

活気があるまちを実現するためには、国分寺ならではの歴史、文化、都市農業などの個性を、多様な主体が関わり合いながら受け継ぎ、新たなアイデアや価値を創出していくことが重要です。

市・市民・事業者等が一体となった地域づくりは、地域課題の解決に向けた原動力にもつながります。

国分寺の良さを受け継ぎ、高めることができる、未来にわたって活気にあふれる成長のまちを目指します。

関連する施策

6 歴史

主担当課 ふるさと文化財課

担当課 市史編さん室

7 文化芸術・スポーツ

主担当課 文化振興課
スポーツ振興課

担当課 —

8 社会教育

主担当課 社会教育課

担当課 公民館課
図書館課

9 シティプロモーション

主担当課 市政戦略室

担当課 文化振興課

10 地域連携

主担当課 協働コミュニティ課

担当課 政策経営課

11 商工振興・創業

主担当課 経済課

担当課 —

12 農業振興

主担当課 経済課

担当課 —



拓本うちわを作ろう



国分寺史跡駅伝



こくベジ マルシェ

6

歴史を通して地域への愛着と誇りを深めます〔歴史〕

目指す姿

文化財の調査、研究、保存・整備により、歴史遺産を生かした魅力あるまちづくりが進んでいます。また、市民が文化財に触れ、親しむことで地域の歴史に愛着と誇りを持っています。

● まちづくりの指標

指標名	現状値	目標値
史跡武蔵国分寺跡を訪れたことがある市民の割合	R6 75.0%	R10 83.0%
国分寺市史を知っている市民の割合	R6 45.0%	R10 53.0%

取組方針 1



文化財普及の推進とボランティア活動の支援

取組方針 2



文化財の調査・研究の推進と保管環境の整備

取組方針 3



文化財の保存・整備・活用の推進

取組方針 4



地域を核としつつ広い視野による
市史編さん事業の推進

7

文化芸術やスポーツに親しむ機会を充実させます〔文化芸術・スポーツ〕

目指す姿

誰もが文化芸術やスポーツを身近なものとして感じられる催しや活動が行われ、人と人・人と地域がつながり、心豊かで健康な生活を送ることができています。

● まちづくりの指標

指標名	現状値	目標値
自分で文化芸術活動を実践したり、ボランティアとして活動を支援した市民の割合	R6 28.3%	R10 29.5%
成人のスポーツ*7の実施率	R6 53.4%	R10 62.6%

取組方針 1



文化芸術に触れる環境の整備

取組方針 2



文化芸術活動を通じた
地域社会のつながりの促進

取組方針 3



スポーツを楽しむ環境の場の整備

取組方針 4



障害者のスポーツ活動の推進

用語解説*7 スポーツ/市民が目的をもって自発的に体を動かすこと。

8

地域コミュニティの基盤を支える学習環境を整備します 〔社会教育〕

目指す姿

多種多様な事業を展開することで、誰もが学ぶきっかけとなる機会が充実し、地域コミュニティにおいて生涯にわたり円滑な学習活動が進められる環境が整備されています。

まちづくりの指標

指標名	現状値	目標値
学びや体験の事業に初めて参加した市民の数	R5 766人	R10 850人
学びや体験の事業数	R5 223事業	R10 223事業

取組方針 1



学校、地域との連携の推進

取組方針 2



多様な学びの機会の充実

取組方針 3



循環する学びの支援

取組方針 4



学習環境の整備

9

シティプロモーションを戦略的に展開していきます 〔シティプロモーション〕

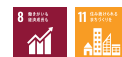
目指す姿

多様な主体が関わり合いながら国分寺の魅力を発掘・創出し、広く発信しながら価値を高めることで、市内外問わず多くの人がまちに愛着や誇りを感じています。

まちづくりの指標

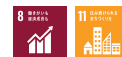
指標名	現状値	目標値
国分寺のまちに愛着や誇りを持っている人の割合	R6 81.2%	R10 85.0%
シティプロモーションサイトのアクティブユーザー数*8	R6 —	R10 100人

取組方針 1



魅力の磨き上げと創出

取組方針 2



戦略的なシティプロモーションの推進

取組方針 3



公民連携による国分寺のファンづくり

取組方針 4



観光まちづくりを推進するための
環境整備と広域連携

用語解説*8 アクティブユーザー数/特定の期間内にサイトを訪れたユーザーの数。同じユーザーが複数のページを見た場合でも1人とカウントされる。

10

多様な主体がつながり、地域課題の解決に取り組めます〔地域連携〕

目指す姿

市民、団体、事業者等、多様な人々がつながり、連携しながら地域課題の解決に取り組むことで、地域が活性化しています。

● まちづくりの指標

指標名	現状値	目標値
過去1年間に地域の交流イベントに参加したことがある市民の割合	R6 33.6%	R10 42.0%
過去1年間に地域活動に参加したことがある市民の割合	R6 27.9%	R10 36.0%

取組方針 1



地域活動の活性化

取組方針 2



多分野における公民連携の推進

取組方針 3



地域のつながりの場の創出・支援

11

魅力ある商工業の創出や地域経済の活性化を図ります〔商工振興・創業〕

目指す姿

創業から事業承継まで切れ目なく支援するスキームの構築や、ニーズに沿った就労の支援を行うことで、地域のにぎわいの創出と経済の活性化が図られています。

● まちづくりの指標

指標名	現状値	目標値
空き家・空き店舗を活用したまちとつながる創業支援事業の相談件数	R6 —	R10 14件
創業者数	R5 60事業者	R10 75事業者

取組方針 1



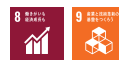
創業支援の充実

取組方針 2



商店会の活性化

取組方針 3



中小事業者の育成・支援の充実

取組方針 4



多様なニーズに沿った就労支援の実施

12

都市農業の強みを生かし、地産地消を推進します〔農業振興〕

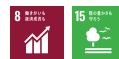
目指す姿

畑のそばに消費者がいる都市農業の強みを生かして、地域に根ざした農業生産の向上と農に対する理解を深めることで、市内農業者の農業経営が強化・安定化されるとともに、地産地消が進んでいます。

● まちづくりの指標

指標名	現状値	目標値
こくベジ*9（地場産農畜産物）の購入率及びこくベジメニュー提供店でこくベジを使った料理の飲食率	R6 75.2% 50.0%	R10 79.2% 54.0%
認定農業者*10数	R6 97人	R10 99人

取組方針 1



農業経営改善に向けた農業者支援

取組方針 2



都市農地の保全の取組

取組方針 3



都市農業の担い手養成の取組

取組方針 4



こくベジプロジェクトによる地産地消の推進

用語解説*9

こくベジ/市内農業者が販売を目的に生産した農畜産物の愛称

*10

認定農業者/効率的で安定した農業経営を目指す農業者で、農業経営改善計画を作成し、市に認定されたものを指す。

自分らしくいきいき暮らせるまち (共生社会・健康・福祉)

すべての人が自分らしく、また、健康に暮らせるまちをつくるためには、子どもから高齢者まで、障害のある人もない人も、国籍や性別を超えて、お互いを尊重し、一人一人の個性を認め合うことが重要です。

国分寺に暮らす人たちが様々な価値観に触れることで、人もまちも更に輝いていきます。

共生社会の実現に向けて、人と人がつながり互いに支え合い、みんなが自分らしくいきいきと暮らせるまちを目指します。

関連する施策

13 人権・ジェンダー・平和

主担当課 人権平和課

担当課 —

14 多文化共生・都市間交流

主担当課 人権平和課

担当課 —

15 健康づくり

主担当課 健康推進課

担当課 地域共生推進課
保険年金課
子育て相談室

16 地域福祉

主担当課 地域共生推進課

担当課 子ども若者計画課
子育て相談室

17 高齢福祉

主担当課 高齢福祉課

担当課 —

18 障害福祉

主担当課 障害福祉課

担当課 地域共生推進課
子育て相談室

19 生活福祉

主担当課 生活福祉課

担当課 —



こくぶんじ
国際交流フェスタ



ヘルプカード



集いの場
「暮らしを拓げる10の
筋力トレーニング」
合同筋トレ



13 人権尊重とジェンダー平等の実現に取り組み、平和意識を醸成します〔人権・ジェンダー・平和〕

目指す姿

基本的人権が保障され、誰もがいかなる理由による差別も受けることなく、個性と能力を十分に発揮できています。平和に対する取組が広く理解され、平和への意識を持ち続けることができています。

まちづくりの指標

指標名	現状値	目標値
人権尊重の意識・取組の浸透度	R6 53.5%	R10 59.0%
ジェンダー平等の推進度	R6 50.8%	R10 60.0%

取組方針 1



人権意識の普及啓発

取組方針 2



性別に関わりなく
誰もが自分らしく生きられる社会の実現

取組方針 3



平和意識の醸成と次世代への継承

14 多文化共生を推進し、都市間交流を活性化させます〔多文化共生・都市間交流〕

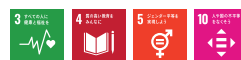
目指す姿

外国人市民が生活に必要な情報を入手でき、安心して暮らせる環境が整っています。また、国際交流や都市間交流が進み、市民の中に多様な文化を尊重し、「共生」の意識が育まれています。

まちづくりの指標

指標名	現状値	目標値
国際交流・多文化共生の推進の取組への満足度	R6 28.1%	R10 32.0%
姉妹都市*11・友好都市*12に関する認知度・参加度	R6 17.8%	R10 21.0%

取組方針 1



外国人市民のコミュニケーション支援・生活・教育支援

取組方針 2



国際理解・国際交流の推進

取組方針 3



姉妹都市・友好都市等との交流促進

用語解説*11 姉妹都市／文化交流や親善等をはじめ、多岐にわたって交流を行う都市。国分寺市では、新潟県佐渡市とオーストラリアのマリオン市と盟約書を交換している。

***12** 友好都市／文化やスポーツなど、特定の分野での交流を目的とした都市。姉妹都市の前段階として、協定に基づき、相互の連携を進めている。国分寺市の友好都市は、長野県飯山市と埼玉県比企郡鳩山町

15

「すべての人がいきいき健やかに暮らせるまち 国分寺」を実現します〔健康づくり〕

目指す姿

子どもから高齢者に至るまで、また、障害の有無や性別にかかわらず、誰一人取り残すことなく、すべての人が生涯いきいき健やかに暮らせるまちを実現できています。

まちづくりの指標

指標名	現状値	目標値
平均障害期間（不健康期間）の短縮状況	R3 男性 1.63年 女性 3.30年	R10 男性 1.56年以下 女性 3.30年以下
主観的健康観（現在の健康状態）が良好な方の割合	R6 57.4%	R10 59.1%

取組方針 1



正確に健康状態を把握するための支援

取組方針 2



市民自らが行う健康づくりの支援

取組方針 3



新興感染症も見据えた予防・健康づくりの推進

取組方針 4



デジタル技術を活用した健康行動の促進

16

だれもが共に認め、支え合い、自分らしく健やかに暮らせる地域をつくります〔地域福祉〕

目指す姿

互いに支え合いながら、だれもが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域が築かれています。また、複雑化・複合化した支援ニーズに対し、包括的な支援体制が整備されています。

まちづくりの指標

指標名	現状値	目標値
支援会議*13及び重層的支援会議*14の開催回数	R5 14回	R10 18回
ヤングケアラー*15又は若者支援の相談先を知っている割合	R6 65.0%	R10 75.0%

取組方針 1



包括的な支援体制の構築

取組方針 2



権利擁護*16支援へつなげる地域連携ネットワークづくり

取組方針 3



困難を抱える若者への支援体制の強化

取組方針 4



ヤングケアラーへの支援体制の構築

用語解説*13 支援会議／本人の同意が得られないために支援関係機関における情報共有や役割分担が進まない事案、予防的・早期の支援が必要にもかかわらず体制整備が進まない事案などに対して、会議の構成委員に守秘義務を課した上で必要な支援体制の検討を行う会議

***14** 重層的支援会議／本人の同意を得たアセスメント結果に基づいて作成したプランについて、その適切性の協議や、プラン終結時の評価を行う会議。個々の支援ニーズに対応する社会資源が不足していることを把握した場合には、地域の課題として、社会資源の開発に向けた取組を検討する。

***15** ヤングケアラー／家族の介護その他日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者。「過度に」とは、子どもにおいては子どもとしての健やかな成長・発達に必要な時間を、若者においては自立に向けた移行期として必要な時間を奪われたり、ケアに伴い身体的・精神的負荷がかかったりすることによって、負担が重い状態になっている場合を指す。

***16** 権利擁護／判断能力が不十分なため権利侵害を受けやすい認知症高齢者や、知的障害者、精神障害者などが、人間としての尊厳や生まれながらに持っている権利を守られ、当たり前社会生活が営めるように、その能力に応じて、権利や生活基盤が社会制度・組織や専門家によって擁護されること。

17

医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域の支援体制を構築します〔高齢福祉〕

目指す姿

医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域の支援体制が構築され、人生の最後まで住み慣れた地域で自分らしく生活できる環境が整っています。

まちづくりの指標

指標名	現状値	目標値
在宅で生活する高齢者の割合	R5 73.6%	R10 75.9%
認知症サポーター*17 養成者数	R5 7,860人	R10 11,400人

取組方針 1



在宅医療と介護の連携の推進

取組方針 2



認知症施策の更なる推進

取組方針 3



介護人材の確保・定着

取組方針 4



住民主体による地域の多様な通いの場*18の充実と高齢者の参加促進

18

障害のある人が、自らの意思で選択した生活を送れるよう支援します〔障害福祉〕

目指す姿

だれもが、社会の一員としてお互いを尊重し、支え合いながら、ともに生きがいを持っていきいきと暮らせる環境が整っています。

まちづくりの指標

指標名	現状値	目標値
「合理的配慮*19の提供」 の認知度	R6 29.1%	R10 37.1%
障害のある人のうち、在宅又はグループホームで生活している人の割合	R5 79.4%	R10 82.0%

取組方針 1



互いを尊重し支え合う地域づくり

取組方針 2



地域で安心して暮らし続けるための環境整備

取組方針 3



自分らしくいきいきと働くための支援

19

自立した生活が送れるよう、生活に困窮している方を支援します〔生活福祉〕

目指す姿

生活に困窮している市民が、それぞれに必要な支援を受けています。その支援によって、安定した生活を送り、着実に自立に向かっていきます。

まちづくりの指標

指標名	現状値	目標値
生活困窮者からの相談のうち、解決に向けた支援につながった方の割合	R5 97.0%	R10 100%
生活保護世帯から、就労により自立した世帯の数	R5 21世帯	R10 22世帯

取組方針 1



生活困窮者への支援

取組方針 2



生活保護被保護者への自立支援

取組方針 3



生活保護被保護者への就労支援

取組方針 4



ひとり親家庭の経済的安定への支援

用語解説*17 認知症サポーター／都道府県等が実施主体となる、認知症サポーター養成講座の受講者で、友人や家族への認知症に関する正しい知識の伝達や、認知症になった人の手助けなどを行う。受講者には認知症を支援する目印としてオレンジリングが授与される。

***18** 通いの場／高齢者をはじめとする地域住民が、他者とのつながりの中で主体的に取り組み、介護予防やフレイル予防に資する月1回以上の多様な活動の場・機会のこと。

***19** 合理的配慮／誰もが、お互いにその人らしさを認め合いながら社会生活を送ることができるよう、日常生活にある様々なバリア（障壁）を取り除くため、負担が重すぎない範囲で必要かつ合理的な対応をすること。

安全・安心で快適なまち (都市環境・安全・安心)

将来にわたって住み続けられるまちを実現するためには、利便性が高く防災力を備えた強靱なインフラや、人々の憩いの場となる公園・緑地などの環境整備、地域の安全性の向上が重要です。

便利で快適な日常生活を送れる環境を整備することで、活気あふれるまちの成長にもつながります。

ハードとソフトの両面で、すべての人が安全・安心で快適に生活できるまちを目指します。

関連する施策

20 市街地整備

主担当課 まちづくり計画課

担当課 まちづくり推進課
駅周辺整備課

21 道路整備・交通安全

主担当課 建設事業課

担当課 道路管理課
交通対策課

22 公園・緑地整備

主担当課 緑と公園課

担当課 —

23 環境保全

主担当課 環境経営課

担当課 まちづくり推進課
緑と公園課
環境対策課

24 循環型社会

主担当課 環境対策課

担当課 ごみ減量推進課

25 防災

主担当課 防災安全課

担当課 建築指導課
まちづくり推進課

26 暮らしの安全(防犯・消費生活)

主担当課 防災安全課

担当課 経済課



国分寺駅北口



ドローンによる空撮



まちづくり活動人材育成講座

20 活気ある暮らしやすいまちの形成に向けてまちづくりを推進します〔市街地整備〕

目指す姿

鉄道駅や史跡周辺、大規模公園等を中心とした拠点の整備が進み、まちに活気があります。また、快適で利便性の高い都市生活を営むことができ、誰もが安全・快適に暮らしています。

● まちづくりの指標

指標名	現状値	目標値
市内の駅の1日平均の乗降人員*数 ²⁰	R5 372,157人	R10 419,431人
市街地整備の推進に対する満足度	R6 38.7%	R10 42.7%

取組方針 1



都市計画マスタープランの見直し

取組方針 2



国分寺駅周辺の拠点整備の推進

取組方針 3



西国分寺駅周辺における市街地整備及び公共空間の活用の推進

取組方針 4



まちづくりに関わる人材の育成

21 誰もが利用しやすい、安全・安心で快適な道路・交通環境を整備します〔道路整備・交通安全〕

目指す姿

都市計画道路をはじめとした幹線道路の整備や、既存道路の適切な修繕、交通安全や自転車の駐車マナーを周知・啓発することで、誰もが快適に利用できる安全で安心な道路交通環境が整っています。

● まちづくりの指標

指標名	現状値	目標値
都市計画道路の完成率	R6 23.0%	R10 35.0%
市内の交通事故発生件数	R5 179件	R10 161件以下

取組方針 1



安全・快適な道路ネットワークの確立

取組方針 2



道路等の適切な維持管理

取組方針 3



交通安全意識の向上

取組方針 4



放置自転車施策の推進

用語解説*20 乗降人員／ＪＲについては、各駅の乗車人員として公表されている数値を２倍したもの。西武鉄道については、駅別乗降人員として公表されている数値。１日平均で表している。

22 誰もが心地良く利用できる公園・緑地を整備します 〔公園・緑地整備〕

目指す姿

市内に残る貴重な自然財産を守り、各地域の魅力を高め、居心地の良い公園・緑地が整備されています。また、市・市民・事業者等が連携し、協働で緑と水を守り、つくり、育てています。

まちづくりの指標

指標名	現状値	目標値
市内の公園・緑地の総面積	R6 152,230㎡	R10 157,030㎡
都市公園の住民一人当たりの面積	R6 1.75㎡	R10 1.8㎡

取組方針 1



公園・緑地の計画的な整備

取組方針 2



公園・緑地の総合的な維持管理

取組方針 3



市民や事業者等との協働による維持管理や情報発信の推進

23 豊かな自然環境と安全・安心な生活環境を守り、未来へ継承します 〔環境保全〕

目指す姿

環境に配慮した良好なまちづくりが行われることで、国分寺の身近で豊かな自然環境と安全・安心な生活環境が保全され、子どもたちに引き継がれています。

まちづくりの指標

指標名	現状値	目標値
生物多様性に配慮した維持管理を行っている市立公園・緑地等の面積	R6 2.37ha	R10 2.90ha
生活環境に関する相談件数	R5 105件	R10 74件

取組方針 1



自然環境・生物多様性の保全・回復

取組方針 2



自然環境・生活環境に関する環境学習の推進

取組方針 3



公害監視による生活環境の保全

取組方針 4



空き家・空き地対策の推進

24

ごみ・資源物を減らし、限りある資源の循環を推進します〔循環型社会〕

目指す姿

市・市民・事業者が協働でごみの減量や資源化に取り組むことで、住環境や自然環境が守られ、清潔で環境に優しいまちとなっています。

まちづくりの指標

指標名	現状値	目標値
一人1日当たりごみ排出量	R5 583.8g	R10 580.4g
総資源化率	R5 48.8%	R10 49.7%

取組方針 1



ごみ・資源物の安定的かつ効率的な処理

取組方針 2



ごみの減量の推進

取組方針 3



ごみの資源化の推進

取組方針 4



事業系一般廃棄物の適正処理

25

自助、共助を支援し公助力を強化します〔防災〕

目指す姿

市民一人一人の「自助」、地域住民等が助け合う「共助」、行政が行う「公助」の取組が進むことで、災害に強いまちとなっています。

まちづくりの指標

指標名	現状値	目標値
災害対策用備蓄物資の平均充足率	R6 66.0%	R10 85.0%
防災訓練参加者数	R5 16,131人	R10 17,881人

取組方針 1



自助力強化のための啓発及び支援

取組方針 2



共助力強化による地域防災力の向上

取組方針 3



応急体制の強化・避難所環境の向上

取組方針 4



防災DXの推進

26

地域の防犯力の向上を図り、安心して暮らせる環境を整えます〔くらしの安全（防犯・消費生活）〕

目指す姿

市、市民等及び関係機関が連携して取り組むことにより、防犯意識や消費者トラブルの相談先の認知度が向上し、安心して暮らせる環境整備が進められています。

まちづくりの指標

指標名	現状値	目標値
刑法犯認知件数	R5 594件	R10 297件以下
消費生活相談の解決率	R5 63.1%	R10 65.0%

取組方針 1



市民の防犯意識向上と地域防犯活動の支援

取組方針 2



ネットワークによる犯罪予防と安全・安心の環境整備

取組方針 3



消費者被害防止に向けた周知啓発と消費者見守りネットワークの推進

取組方針 4



消費生活相談体制の強化

未来につながる持続可能なまち (公共経営)

社会環境の変化や複雑化・複合化した地域課題に機動的に対応していくためには、行政改革を推し進め、効率的な行政運営を実現するとともに、強固な財政基盤を築くことが重要です。さらに、デジタル化と脱炭素の取組を推進し、その効果を他の分野にも波及させながら、市民生活をより豊かなものにしていきます。変化に適応し、持続可能なまちづくりを進めることで、国分寺の価値を高めながら、未来へとつながるまちを目指します。

関連する施策

27 デジタル化推進

主担当課 デジタル行政推進室

担 当 課 政策経営課
情報管理課

28 脱炭素

主担当課 環境経営課

担 当 課 —

29 公共施設マネジメント

主担当課 公共施設マネジメント課

担 当 課 教育総務課

30 市民参加・協働・情報共有

主担当課 政策経営課

担 当 課 協働コミュニティ課
情報管理課
市政戦略室

31 行財政運営

主担当課 政策経営課

担 当 課 財政課
職員課



翻訳アクリル板・軟骨伝導イヤホン
多言語映像通訳



市庁舎1階エントランスベンチ



若者ワークショップ

27 デジタル技術の活用を加速していきます〔デジタル化推進〕

目指す姿

デジタル技術の活用を加速して行政サービスの利便性を向上させるとともに、業務改善やデータの利活用により、行政事務を効果的・効率的に行っていきます。

まちづくりの指標

指標名	現状値	目標値
電子申請を受け付けた件数	R6 25,000件	R10 35,000件
業務改善による削減時間	R6 3,000時間	R10 5,000時間

取組方針 1



デジタル化による市民の利便性の向上

取組方針 2



デジタル化による行政事務の効率化・高度化

取組方針 3



デジタル化による地域課題の解決

取組方針 4



デジタル化における人材育成とセキュリティ対策の推進

28 オール国分寺で地域の脱炭素化を推進します〔脱炭素〕

目指す姿

市・市民・事業者が一体となって温室効果ガスの排出削減に取り組み、GXにつなげることで、地域の脱炭素化と地球に優しい持続可能なまちづくりが進められています。

まちづくりの指標

指標名	現状値	目標値
市内の温室効果ガス排出量の削減割合	R6 7.7% (R3年度削減割合)	R10 20.0% (R8年度削減割合)
日常的に環境に配慮した行動をとっていると回答した市民の割合	R6 97.2%	R10 100%

取組方針 1



脱炭素ムーブメントの創出

取組方針 2



建物・設備機器の省エネ化と再生可能エネルギー導入の促進

取組方針 3



市の事務・事業における脱炭素の取組の加速

29 総合的かつ計画的な公共施設のマネジメントを推進します〔公共施設マネジメント〕

目指す姿

公共施設マネジメントの推進により、持続可能な行政サービスの基盤として、効果的・効率的に公共施設の計画・維持保全・整備が行われています。

まちづくりの指標

指標名	現状値	目標値
施設の修繕等の実施計画に基づく修繕・改修着手件数	R6 —	R10 29件
包括施設管理業務委託*21の業務数	R6 123件	R10 154件

取組方針 1



公共施設の長寿命化

取組方針 2



予防保全型の施設管理の推進

取組方針 3



複合化・多機能化した公共施設の整備

取組方針 4



学校教育施設の計画的な修繕・更新

用語解説*21 包括施設管理業務委託／複数の公共施設の維持管理業務を包括的に委託管理することによって、統一した考え方による適切な維持保全を実現するため、民間のノウハウを活用するPPP*22手法の一つ。

*22 PPP／Public Private Partnershipの略。公共施設等の建設、維持管理、運営等を行政と民間が連携して行うことにより、民間の創意工夫等を活用し、財政資金の効率的使用や行政の効率化等を図るもの。

30 情報の公開と共有を進め、市民参加と協働を推進します 〔市民参加・協働・情報共有〕



目指す姿

幅広い年代や属性の市民が市政に参加するとともに、多様な主体の協働によるまちづくりが行われています。また、市政情報が市民・事業者等に適切に伝わり、共有が図られています。

● まちづくりの指標

指標名	現状値	目標値
市政に参加したことがある市民の割合	R6 11.7%	R10 20.0%
必要とする情報が得られていると感じている市民の割合	R6 67.6%	R10 70.0%

取組方針 1



誰もが市政に関心を持ち参加できる機会の創出

取組方針 2



協働推進に向けた幅広い分野における担い手の育成

取組方針 3



市政情報の積極的な公表

取組方針 4



分かりやすく伝わりやすい広報の推進

31 効果的・効率的な行政運営と堅実な財政運営を行います 〔行財政運営〕



目指す姿

社会環境の変化に柔軟に対応するため、行政資源を有効活用した行政運営を実施するとともに、財政規律を確保して強固な財政基盤を確立しています。

● まちづくりの指標

指標名	現状値	目標値
窓口サービスの利便性の向上度	R6 54.1%	R10 66.0%
基金*23残高	R5 財政調整基金 41.2億円 公共施設整備基金 60.9億円	R10 財政調整基金 30億円以上を維持 公共施設整備基金 20億円以上を維持

取組方針 1



持続可能な行政運営の実現

取組方針 2



業務改革に資する意識の醸成

取組方針 3



自ら考え積極的に行動できる職員の育成

取組方針 4



堅実な財政運営による財政規律の確保

用語解説*23 基金／地方公共団体が、条例の定めるところにより積み立てる資金。目的を限定しない財源の不均衡を調整するための財政調整基金のほか、公共施設整備基金など特定の目的のために積み立てる基金がある。

国分寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第3期)

本市は、市民一人一人が夢や希望を持ち、住み続けたいと感じることができるまちを目指し、「国分寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第3期)」を策定しました。

「国分寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第3期)」における取組の方向やまちづくりの考え方は、「第2次国分寺市総合ビジョン」の目的や内容と密接に関係しています。このため、「第2次国分寺市総合ビジョン」と一体的に進行管理を行うことで、効果的・効率的な施策の展開を図っていきます。

年度 計画名	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)
国分寺市 ビジョン	R7年度～R14年度(8年間)							
国分寺市 ビジョン実行計画	前期:R7年度～R10年度 (4年間)				後期:R11年度～R14年度 (4年間)			
国分寺市 まち・ひと・しごと 創生総合戦略								

国分寺市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第3期)の構成

● 地域ビジョン 『歴史をつなぎ 未来をひらく 個性がひかり輝くまち』

※「第2次国分寺市総合ビジョン」の「未来のまちの姿」と共通

● 基本目標

地域ビジョンの実現に向けた施策の方向性として、子育て環境整備、シビックプライド*24の醸成、安全・安心なまちづくりの視点で基本目標を設定しています。

- 基本目標 1

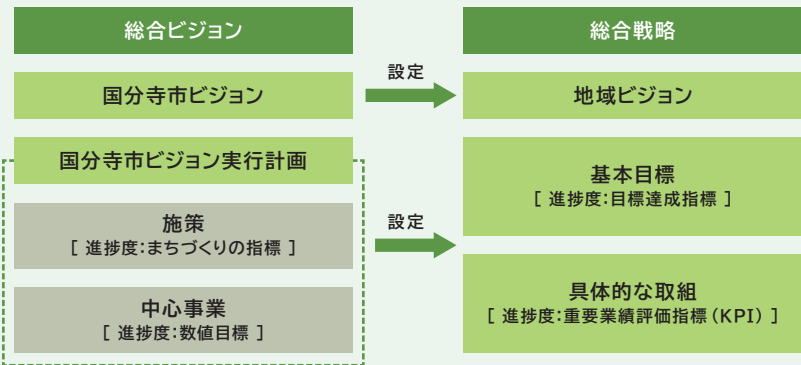
「安心して産み育てたい」をかなえ、子どもも大人もいきいき暮らせるまちを実現する
- 基本目標 2

まちへの愛着や誇りを醸成し、新たな人の流れを呼び込む
- 基本目標 3

社会環境の変化に適応し、安心して暮らせるまちをつくる

● 具体的な取組と指標

基本目標の達成状況を図するための「目標達成指標」と、その達成に資する具体的な取組は、「第2次国分寺市総合ビジョン」における「まちづくりの指標」と「中心事業」からそれぞれ適切なものを選定し、設定しています。



用語
解説

*24 シビックプライド／市民が都市に対して持つ誇りや愛着。「このまちをより良い場所にするために自分自身が関わっている」という当事者意識を伴う自負心のこと。

各基本目標の目標達成指標と具体的な取組

基本目標 1 「安心して産み育てたい」をかなえ、子どもも大人もいきいき暮らせるまちを実現する

● 目標達成指標

指標名	現状値	目標値 (R10)	該当 ページ
この地域で子育てをしたいと思う親の割合 ※前期実行計画「1 切れ目のない子育て支援」で掲げるまちづくりの指標	95.4%	96.0%	P7
必要な子育て支援サービスを利用できていると感じる保護者の割合 ※前期実行計画「2 子育て支援サービス」で掲げるまちづくりの指標	87.0%	91.0%	P7

● 具体的な取組

分野	施策	取組方針	該当 ページ
子ども・学 び	1 切れ目のない子育て支援	①切れ目のない妊娠・出産・育児支援体制の充実	P7
		②母子健康教育の充実と地域での仲間づくりの促進	
		③母子保健と児童福祉の一体的な支援体制の構築	
		④地域の相談支援体制の構築	
	2 子育て支援サービス	①子育て支援サービスの情報提供及び利用支援の推進	P7
		②多様なニーズに対応した地域の子育て支援サービスの充実	
		③子どもの発達に関する支援の充実	
		④子どもの居場所づくりの推進	
	3 子育て環境整備	①保育サービスの充実による待機児童対策の推進	P8
		②幼児教育・保育の人材育成と運営支援の充実	
		③学童保育所の狭あい状況の解消と保育環境の充実	
		④学童保育の質の維持・向上・均一化に向けた職員研修の実施	
健康・社会・福祉	13 人権・ジェンダー・平和	②性別に関わりなく誰もが自分らしく生きられる社会の実現	P14

基本目標 2

まちへの愛着や誇りを醸成し、
新たな人の流れを呼び込む

目標達成指標

指標名	現状値	目標値 (R10)	該当 ページ
国分寺のまちに愛着や誇りを持っている人の割合 ※前期実行計画「9 シティプロモーション」で掲げるまちづくりの指標	81.2%	85.0%	P11
過去1年間に地域活動に参加したことがある市民の割合 ※前期実行計画「10 地域連携」で掲げるまちづくりの指標	27.9%	36.0%	P12

具体的な取組

分野	施策	取組方針	該当 ページ
学 子 び ど も	4 学校教育	③国分寺学の推進	P 8
		④質の高い学校給食の充実と食育の推進	
歴 史 ・ 文 化 ・ 地 域 づ く り	6 歴史	①文化財普及の推進とボランティア活動の支援	P 10
		④地域を核としつつ広い視野による市史編さん事業の推進	
	7 文化芸術・スポーツ	①文化芸術に触れる環境の整備	P 10
		②文化芸術活動を通じた地域社会のつながりの促進	
	8 社会教育	①学校、地域との連携の推進	P 11
	9 シティプロモーション	①魅力の磨き上げと創出	P 11
		②戦略的なシティプロモーションの推進	
		③公民連携による国分寺のファンづくり	
	10 地域連携	①地域活動の活性化	P 12
		③地域のつながりの場の創出・支援	
	11 商工振興・創業	①創業支援の充実	P 12
		④多様なニーズに沿った就労支援の実施	
	12 農業振興	③都市農業の担い手養成の取組	P 12
安 都 全 市 ・ 環 境 ・ 安 心	20 市街地整備	④まちづくりに関わる人材の育成	P 18

基本目標 3

社会環境の変化に適応し、 安心して暮らせるまちをつくる

目標達成指標

指標名	現状値	目標値 (R10)	該当 ページ
市街地整備の推進に対する満足度 ※前期実行計画「20 市街地整備」で掲げるまちづくりの指標	38.7%	42.7%	P18
災害対策用備蓄物資の平均充足率 ※前期実行計画「25 防災」で掲げるまちづくりの指標	66.0%	85.0%	P20

具体的な取組

分野	施策	取組方針	該当 ページ
都市環境・安全・安心	20 市街地整備	①都市計画マスタープランの見直し	P18
	21 道路整備・交通安全	①安全・快適な道路ネットワークの確立	P18
		③交通安全意識の向上	
	25 防災	①自助力強化のための啓発及び支援	P20
		②共助力強化による地域防災力の向上	
		③応急体制の強化・避難所環境の向上	
		④防災DXの推進	
	26 暮らしの安全(防犯・消費生活)	①市民の防犯意識向上と地域防犯活動の支援	P20
		②ネットワークによる犯罪予防と安全・安心の環境整備	
		③消費者被害防止に向けた周知啓発と消費者見守りネットワークの推進	
		④消費生活相談体制の強化	
公共経営	28 脱炭素	①脱炭素ムーブメントの創出	P22
		②建物・設備機器の省エネ化と再生可能エネルギー導入の促進	
	29 公共施設マネジメント	①公共施設の長寿命化	P22
		④学校教育施設の計画的な修繕・更新	

第2次国分寺市総合ビジョン 概要版

発行 国分寺市

〒185-8501東京都国分寺市泉町二丁目2番18号

電話 042-312-8696

編集 国分寺市 政策部 政策経営課

ホームページ <https://www.city.kokubunji.tokyo.jp/>

第2次国分寺市 総合ビジョン

令和7年度～令和14年度

概要版